



## 香川県では 2 例目の渡来！

アカハシハジロ *Netta rufina* は本州から琉球諸島へ、冬季に稀に渡来するカモ類です。記録は本州が多く、四国では香川県のみ、九州では福岡県及び熊本県のみで記録されています(日本鳥学会, 2012)。

雄ではその名の通り真っ赤な嘴が特徴であり、渡来記録も雄が多いようです(真木ら, 2014)。

香川県では、1997年11月16日に丸亀市にて♂1羽が確認されました(吉村, 1998)。1月中旬にも観察され(岡, 1998)、最終確認日は不明ですが、無事に越冬しました。

当時(1997年から98年の冬季)、まだ香川県への渡来記録が少なかったホオジロガモやツクシガモ、また1996年に香川県初記録だったメジロガモが再び渡来するなど、県内のバードウォッチャーの間では、珍しいカモ類の話題でもちきりだったのを記憶しています。

さて、今回さぬき市内のため池で、アカハシハジロが確認されました。初認は2014年12月14日(谷上, 2015)とのことです。東讃地区のため池をチェックする方は少なく、今回の観察は丁寧な観察の賜物と言えるのではないかと思います。

大小様々、水深も周囲の環境も様々なため池が多数点在する香川県では、カモ類の越冬地としては最適であり、今回のアカハシハジロのように、まだまだ珍しい種が渡来しているかもしれません。また、かつては珍鳥的な扱いだったツクシガモやミコアイサが増加する一方、何となくハジロカイツブリやカンムリカイツブリは減少しているような気がします。いや、「気がする」だけではないけません。渡来するカモ類等の水鳥の種類の変化は、環境の変化を記している可能性があります。ぜひ皆様も、お近くの池を定期的にチェックし、渡来種を記録し、本会へもご報告ください。



▲アカハシハジロ 2015.1.16 さぬき市 PHOTO©坂田和男

- ・岡潔. 1998. 最近何か出てますか?(アカハシハジロ、アカハジロ、ホオジロガモ). BIRDER12(3)1998年3月号. 文一総合出版
- ・吉村正則. 1998. 「1997年、日本に舞い降りた珍鳥たち」(アカハシハジロ). BIRDER12(6)1998年6月号. 文一総合出版
- ・谷上時彦. 2015. 表紙(アカハシハジロ), かいつぶり(373)2015年2月号. 日本野鳥の会香川県支部
- ・真木広造・大西敏一・五百澤日丸. 2014. 決定版 日本の野鳥 650. 株式会社平凡社
- ・日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥類学会